

事務事業名		町営住宅大宮団地建替え事業			<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業	
総合計画	政策名	0:4: 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり			所属課	建設水道課
	施策名	0:2: 快適な住環境の整備			課長名	中島 正
予算科目		会計	款	項	目	事業
		1	7	4	2	1
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (27 年度～ 30 年度)	
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 現在の大宮住宅は昭和51年・52年に建築し、37～38年以上経過し老朽化が進んでいる。平成23年度に実施した町営住宅長寿命化計画の中でも、耐用年数が過ぎており建物の傷みも各所に見られ、修繕での対応は不可能で建替が必要と判断されました。また、トイレも水洗化がされてなく、住環境も悪くこれらを改善するためにも大宮団地の建替え事業を実施する。</p> <p>2 事業費 (RC造り、2階建て2棟20戸での概算事業費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成27年度 <ul style="list-style-type: none"> ・大宮団地建替え基本計画作成業務 (2,000千円) ・用地測量業務(用地買収を含む) (3,000千円) ○平成28年度 <ul style="list-style-type: none"> ・大宮団地建築工事実施設計書作成業務 (25,000千円) ・旧大宮団地解体工事実施設計書作成 (2,000千円) ・駐車場、周辺整備実施設計業務 (3,000千円) ○平成29年度 <ul style="list-style-type: none"> ・旧大宮団地解体工事(第1期工事) (10,000千円) ・大宮団地建築工事(第1期工事) (220,000千円) ○平成30年度 <ul style="list-style-type: none"> ・旧大宮団地解体工事(第2期工事) (10,000千円) ・大宮団地建築工事(第2期工事) (190,000千円) ・駐車場、周辺整備工事 (25,000千円) 				

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	建替え住宅戸数	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	低所得者等の住宅困窮者入居住宅	ア: 現住宅戸数	
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	老朽化した住宅を建替え、安全で快適な住環境を提供する	イ: 建替え住宅戸数	
		(5) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位
		ア: 解体住宅戸数	
		イ: 建替え住宅戸数	
		(6) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位
		ア: 解体住宅戸数	
		イ: 建替え住宅戸数	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	0	17	17	9	8	
		実績値	0					
対象指標	イ	目標値	0			10	10	
		実績値	0					
成果指標	ア	目標値	0	17	17	9	8	
		実績値	0					
	イ	目標値	0			10	10	
		実績値	0					

計画		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
投入量	事業費	千円					
	国庫支出金	千円			14,000	100,000	100,000
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		5,000	16,000	130,000	125,000
事業費計 (A)		千円	0	5,000	30,000	230,000	225,000

実績		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
投入量	事業費	千円					
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
事業費計 (A)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	低所得者及び住宅困窮者等への住宅供給は町の責務であり妥当である	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	現在の住宅は耐用年数が過ぎており、老朽化がすすみ修繕では対応できない状況なので、早急な建替えが必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	耐震構造、バリアフリー構造等の法的基準構造は替えられないが、施工方法等コスト削減に努める 木造住宅の耐用年数30年、RC住宅の耐用年数70年であり、将来的にはRC造りの方がコスト削減となる	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	町が建設し、住宅困窮者等へ提供するものであり受益者(入居者)の負担はない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 26 年 11 月 28 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 ・低所得者に限定せず入居できるよう検討すること ・木造での設計を検討すること	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業